

広報 トピックス



〈歌志内幼稚園発表会〉

11月17日、歌志内幼稚園で発表会が行われ、可愛らしい衣装を包み、歌や遊戯を披露する園児たちの姿に、観覧に訪れた保護者のかたがたから大きな拍手が送られました。



〈歌小低学年・楽生園文化祭交流会〉

楽生園で11月2日、歌志内小学校低学年・楽生園文化祭交流会が行われ、参加した児童たちは、入所者のかたがたに合唱や音楽、遊戯を披露しました。



〈日赤奉仕団楽生園交流ゲーム大会〉

11月16日、歌志内市赤十字奉仕団の皆さんが楽生園を訪れ、施設入所者のかたがたと一緒にスカットボールのゲーム大会を行い、参加者は終始笑顔で交流を深めました。



〈神威保育所防火映画会〉

10月30日、歌志内市防火安全協会主催による防火映画会が神威保育所で開かれ、子どもたちは映画を通して火災の恐ろしさを学びました。



〈9市町スポーツ推進委員研修会〉

公民館で10月30日、9市町スポーツ推進委員研修会が開催され、講演や地域におけるスポーツ振興の方策や現状について情報交換を行い、向上と親睦を図りました。

会員作品
歌志内俳句会選

はかま無き団栗ばかり山路かな 吉岡 ゆか
キャンドルに冬薔薇そして真珠 勝部 貞子
婚 岡部 康一
待ち人にテイクアウトの夜鷹蕎麦 須藤 涼子
ふた周り長きマフラーさまにな 後藤 妙子
やさしさと真心赤い羽根募金



市民の ひろば

俳句

■ふるさと納税
▽神奈川県 匿名 現金10万円
▽1件 現金3万円

ありがとうございます
ごぞいませ



「冬の花」
川辺 広子

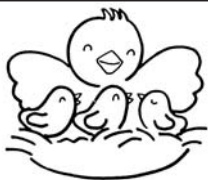


「癒し」
田村 イサ

絵手紙

冬の薔薇女性が慕ふ女なりし 横山 冬青
大綿のひとつはおのが胸にくる 大沼 きみ
泣けば済む齢でも無しセロリ噛む 高瀬 仁孝

うちの子も げんきです



うししま あゆむ
牛島 歩夢くん
とお母さん



文珠第三

お父さん・輝彦さん お母さん・純子さん
長男(1歳2か月)
お母さんのひとこと

人見知りもしなく、とても元気で活発な性格です。大好きなお姉ちゃんといっしょに車のおもちゃで遊んだり、外を散歩したときに車を見たりするのが好きですね。

このまま明るく元気で、男の子らしく健康な子に育って欲しいですね。



〈絵本の読み聞かせボランティア〉

歌志内小学校で11月14日、北海道子どもの本連絡協議会運営委員の吉竹さんによる絵本の読み聞かせボランティアが行われ、児童たちは笑顔で見入っていました。

11月8日、歌志内小学校で、歌小ふれあいフェスティバルが開かれ、児童たちは学年ごとに考えたお店を設け、お客となる児童や保護者をお客に呼び込みました。



〈歌小ふれあいフェスティバル〉



〈牛乳料理講習会〉

11月15日、公民館で牛乳や乳製品を使った料理講習会が開催され、参加した皆さんは白菜のミルクスープや、にんじんライスなど、栄養のバランスを考えた5品を作りました。



〈老人クラブ講話会〉

老人福祉センターで10月30日、老人クラブ講話会が開催され、市管理栄養士を講師に招き、「バランス食と骨粗鬆症予防について」と題した講演に参加した42人は熱心に聞き入っていました。

図書館 だより

☎42~6900

行事

■移動どうわ会

- ▼とき 12月7日(金) 15時
- ▼ところ 神威児童センター
- ▼内容 本の読み聞かせ、紙しばい、クリスマス工作
- 移動としよかん
- ▼とき 12月19日(水) 14時30分
- ▼ところ 歌神94番地(歌神三区)

詳細についてはお問い合わせください。

- ▼とき 12月20日(木)
- ▼ところ
- ▼楽生園 14時30分
- ▼給食センター 15時45分
- ▼市民体育館 16時15分

※図書館では、移動としよかんの開催場所を募集しています。詳しくは図書館までお問い合わせください。

読んでみませんか?

『猿の悲しみ』 (樋口有介著)

弁護士事務所 調査員、風町サエには服役中に生んだ一人息

子がいる。仕事のかたわら息子の将来を憂える彼女の、今回の仕事は、離婚調停の材料集めと、ついでに殺人事件の容疑者に会うこと。口は悪いが人情にあついシングルマザーによるハードボイルド小説。

『汚れちまった道』 『殺殺殺人事件』 (内田康夫著)

山口を舞台に同時期におこった2つの事件。それぞれの事件を浅見光彦はどう解き明かすのか。2冊のうち、どちらからでも楽しめます。

『空より高く』 (重松 清著)
『花見ぬひまの』 (諸田玲子著)
『禁断の魔術』 (東野圭吾著)

北門文庫コーナー

『日本と世界のおもしろことわざ』 全6巻

(北村孝一、須藤健一監修) 日本では「さわらぬ神に祟りなし」といいますが、ヨーロッパの国々では「眠っている犬を起すな」、韓国では「眠っている虎の鼻に釘を打つな」、マレーシアでは「古い池はそっとしておくに限る」といいます。こ

とわざで文化の違いを楽しんでみませんか。

『ひとりぼっちのガフ』 (きむらゆういち作、あべ弘士絵)